

インテリア部会活動報告

インテリア部会は今年より昨年度からの10周年記念事業も含めて以下の3つの事業を推進しています。
部会長 杉山〈理事〉吉村、今野、古関〈メンバー〉大場、志智、東郷、谷口、成島（賛助）江草（プレス）高橋

1. 10周年記念事業「INTERIOR TEXTILE DESIGN WAVE 1955-2005」

リーダーの旗振りが悪く、2年越しの事業になってしまいましたが、目先の11/22からのJAPAN TEX展にようやく間に合うように進めています。

- ・企画の構成 ! INTERIOR TEXTILE DESIGN WAVE 1955-2005
10年前に作成した1955-1995 復刻版+1995-2004の10年間をプラスしたもの。6面折り(カラー)
- ” INTERIOR TEXTILE DESIGN WAVE 1955-2004 (ファニシング編)
10年間を年度ごとに詳細に記録したもの。5面折り(カラー)
- # INTERIOR TEXTILE DESIGN WAVE 1955-2004 (リネンズ編)
新規企画。この10年間のリネンズ類の記録。5面折り(カラー)
- \$ マーケット概要編 1995-2005 文字のみ(白黒)
- % ビデオテープ(10年作成1955-1995)をCDにした復刻版
- ・JAPANTEX2005 有明ビックサイト 11月22日～26日にて発表、発売。
発表と云うより年表の販売、会員勧誘などを主目的として出展します。
(JAP展の販売価格は!～\$のセット封筒入り¥2,000 %は別売予定価格¥1,000)
- ・年表は会員、賛助会員には配付致します。
- ・⑳日本インテリアファブリックス協会の協賛を戴きました。又、貴重な資料を御提供戴きました。
NIF会員各企業様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

2. 図案展 (06ページに掲載)

3. 三河繊維産業商品開発研究会とのコラボレーション

一産地とTDAのデザイナーと協業でジャパン・クリエーション(12/7-9 有明ビックサイト)で発表一

三河産地はポリエステルを主体としたインテリア用の生産が多く、これらは今日の低価格志向の波で中国にシフトされ厳しい状況にあり産地の生き残り策を問われています。活性化と自主企画力の強化を目指して三河繊維産業商品開発研究会(委員長トキワ織物^⑭ 鈴木社長)は今年の実業としてテキスタイルデザイナーと共同で商品開発をしたいとのことでTDAが選ばれ、小川事務局長を窓口を受託することになりスタートしています。産地側の要請は単にモノ作りだけでなく「OEM→自主的計画的な商品企画力の強化」と「若手の育成」という課題もあり、これらも併せて推進するためインテリア部会長の杉山がプロデュース及びレクチャーをし、企画は産地企業が主体的に個々に行い、この企画に沿ってパートナーのデザイナーがデザインする。

- ・産地企業とTDAデザイナーの組合せ
小森^⑭／豊方康人 トキワ織物^⑭／古関崇尚 森菊^⑭／古屋興一 森重実業^⑭／今野文雄
フタキインテリア^⑭／今井弘子 ^⑭松坂／宮嶋直子
- ・テーマ「個・性・共・演」産地全体でなく、個々の企業が自社のポジショニングや企業理念を再確認して、独自性を出すこと。さらに脱・カーテン、脱・ポリエステルを目指した汎用性のあるファブリック作りを目指します。従ってJ/Cでのスタンドは横並びですが個々にディスプレイの趣向は違ってきます。是非、見て下さい。(杉山 哲三)